

モニターアーム シングルディスプレイ 5 軸

注文コード: 13964110

このたびは、モニターアーム シングルディスプレイ 5軸をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
ご使用前に本書を必ずお読みのうえ、正しく安全にご使用ください。また、いつでも取り出せる場所に必ず保管してください。

1 安全にお使いいただくために

ここに書かれた注意事項は、人体への危害や財産への損害を未然に防止するための内容です。いずれも安全にお使いいただくためには重要ですので、必ずお守りください。

警告 この表示は、注意事項を無視して誤った使い方をした場合に、「死亡または重傷を負うおそれがある」内容です。

⚠ 注意 この表示は、注意事項を無視して誤った使い方をした場合に、
「ケガや傷害を負うこと、製品の破損やそれに伴う財産の損害が発生するおそれがある」内容です。

ご使用上の注意

【はじめに】 誤った使用方法により人的傷害や製品の破損、その他の物理的損害が生じた場合、一切の補償、責任を負いません。
また、本製品の分解・改造・修理は、決して行わないでください。

警告

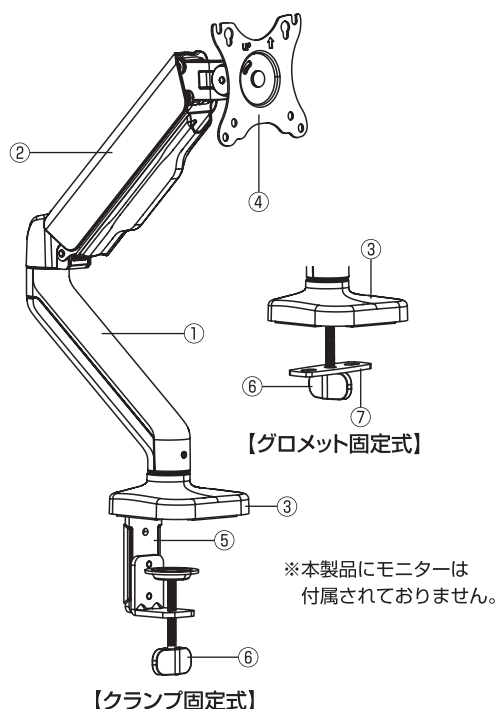
● 機器本体を取り付ける際は、必ず二人以上で安定した平らな場所を確保しておこなってください。 ● 組立手順に従い、各部品をしっかりと固定してください。締め付け・かみ合わせが緩いとし落下などの原因となります。 ● 定期的にネジの締め直しを行ってください。緩んだまま使用されますと転倒・落下・破損などの原因となり非常に危険です。 ● 本製品は、対応機器を適切な角度に置き、視聴するための製品です。他の用途ではご使用にならないでください。 ● 機器本体の落下や故障、設置部の破損、怪我のおそれがありますので、以下のことを必ず守ってご使用ください。 ● 本製品を不安定な場所や振動の激しい場所には設置しないでください。 ● 薄い机や中が空洞になっている机、ガラスなどの割れやすい机には設置しないでください。 ● 耐荷重を超える機器本体は取り付けしないでください。 ● ご使用前に本製品に機器本体がしっかりと装着されていることをご確認ください。 ● 可動部分に手や足、衣類などを挟まないようにしてください。 ● アーム関節部のネジなどを分解しないでください。 ● ご使用の際は、アームの各関節部にあるネジをしっかりと締めた状態でご使用ください。 ● 亀裂などの破損、変形、劣化を発見した場合は直ちに使用を中止してください。

⚠ 注意

● 組立時は机などを傷つけないようにご注意ください。 ● アーム位置の調整は静かにゆっくりと行ってください。また、必ず両手で行ってください。 ● 可動範囲に人が入る場合は、十分ご注意ください。 ● 可動範囲内に物などを置かないでください。 ● 本製品に機器本体を取り付けたまま持ち運ばないでください。 本製品および機器本体の変形や劣化の原因となりますので、高温・多湿・直射日光を避けてご使用ください。 ● アルコール類、またはその他の製品を本製品に付着させないでください。また、かたい布で本製品をふかないでください。 ● 乳幼児の手の届かない所でご使用、保管してください。 ● 機器本体の破損や故障、データの紛失、消滅などについては一切の責任を負いかねますのでご了承ください。

2 構成部品

【製品図】



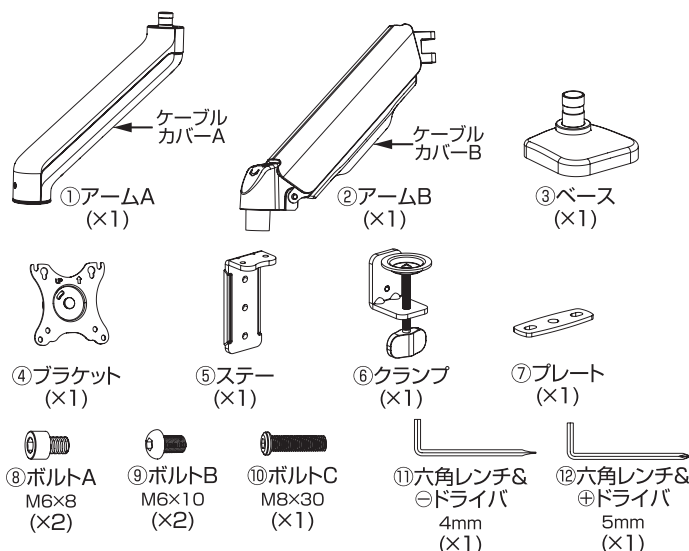
【仕様】

タイプ	デスク取付けタイプ(スプリング式)	質量(kg)	約2.2
取付方式	グロメット式/クランプ式	取付可能寸法(mm)	クランプ式:10~80
耐荷重(kg)	2~9	天板厚さ	グロメット式:10~45
寸法(mm) 幅×奥行×高さ	117×480×570	取付可能モニターサイズ (インチ)	17~32

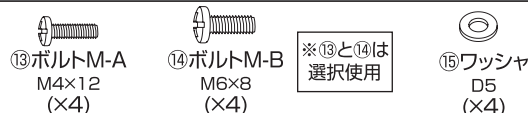
※ 本製品はVESA規格に準拠した製品です。
※ 商品改良の為、仕様・外観等を予告なく変更することがあります。この変更によって生じる損害については、当社はその責任を負いかねますので予めご了承ください。

※本製品は組み立て式です。お客様ご自身での組み立てになります。

本体取り付け用



モニター取り付け用



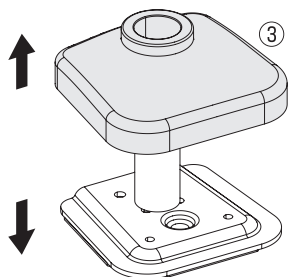
＜用意いただくもの＞

電動ドリル、ドリル刃(10mm)〔グロメット固定式で取り付ける場合〕

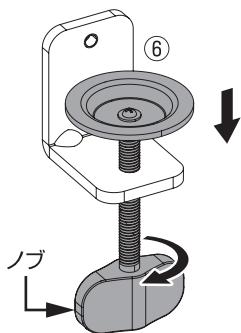
3 組立方法

■ 前作業

1 ③ベースを上下に分割します。



2 ⑥クランプのノブを回して挟み込み部を最大長にします。

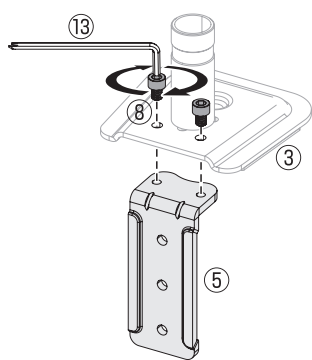


■ ベースの取り付け

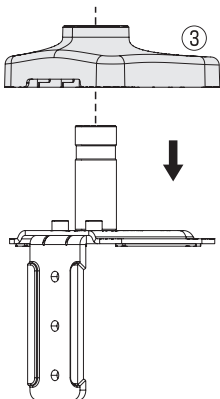
クランプ固定式で取り付ける場合

▼ ベースの組立て

1 ⑤ステーに分割した③ベースの下側を、⑧ボルトAで⑬六角レンチを使用して締付け固定します。



2 分割した③ベースの上側を、はめ込みます。

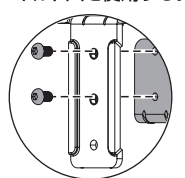


▼ 天板への取り付け

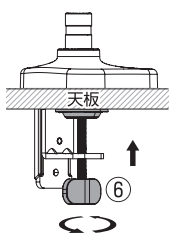
<厚さ10～45mmの天板に取り付ける場合>

1 ⑥クランプを⑤ステーの“上”と“中央”のボルト穴に⑨ボルトBで⑪六角レンチを使用して締付け固定します。

“上”と“中央”のボルト穴を使用する。



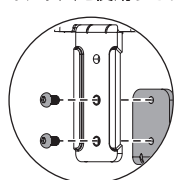
2 ⑥クランプのノブを回して天板に固定します。



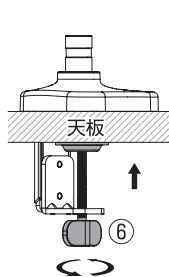
<厚さ45～80mmの天板に取り付ける場合>

1 ⑥クランプを⑤ステーの“下”と“中央”のボルト穴に⑨ボルトBで⑪六角レンチを使用して締付け固定します。

“下”と“中央”のボルト穴を使用する。



2 ⑥クランプのノブを回して天板に固定します。



グロメット固定式で取り付ける場合

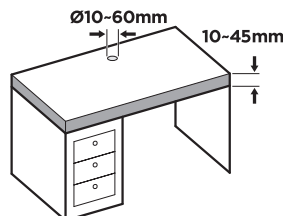
⚠ 注意

● 天板の厚さが10～45mmの場合に、グロメット式で取り付けすることができます。

<既存の穴を使用して取り付ける場合>

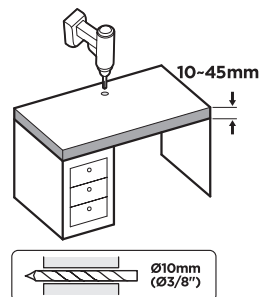
⚠ 注意

● 既存の穴サイズがΦ10～60mmの場合、既存の穴を使用して取り付けすることができます。



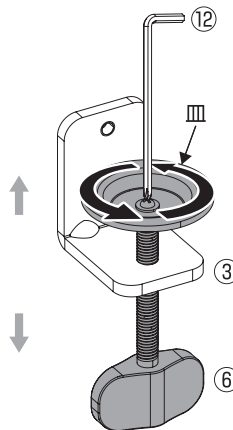
<穴を開けて取り付ける場合>

● 電動ドリルを使用して、Φ10mmの穴を開けます。

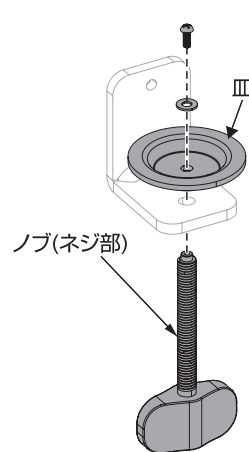


▼ クランプの分解

1 ⑥クランプの皿の固定ネジを⑫六角レンチ(④ドライバ側)を使用して緩めます。

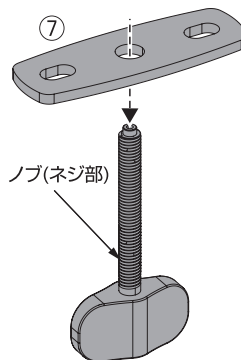


2 皿の固定ネジを外し、クランプを分離します。

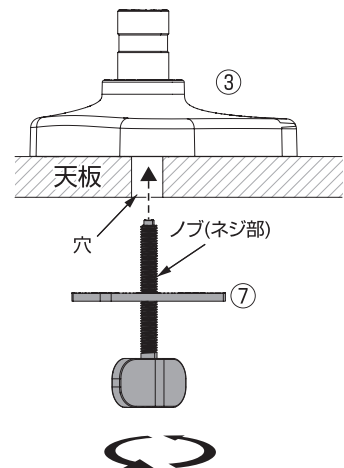


▼ 天板への取り付け

1 分離したノブ(ネジ部)に⑦プレートを挿入します。



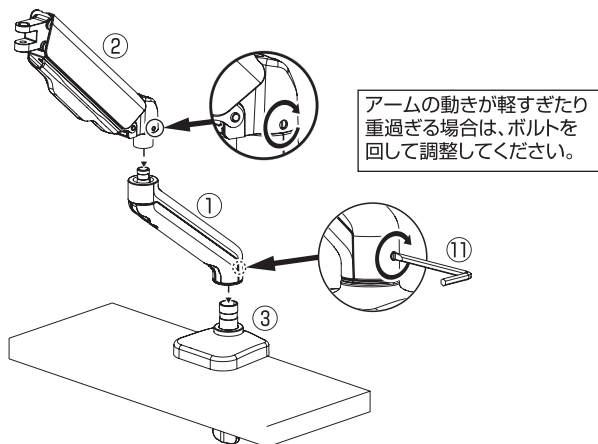
2 天板に置いた③ベースに、ノブ(ネジ部)を天板の穴に差し込み締付け、③ベースを固定します。



■ アームの取り付け

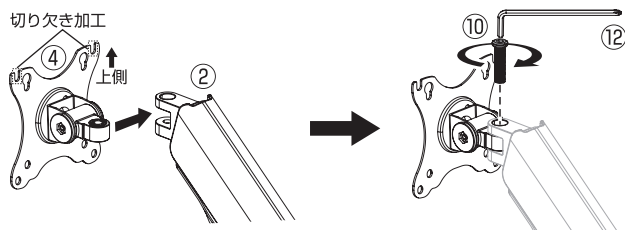
▼ アームをベースに取り付ける

- ③ベースに①アームAを取り付けます。
- ①アームAに②アームBを取り付けます。
- ①アームAと②アームBの固定ボルトを適宜、⑪六角レンチ(⊖ドライバ側)で締付けてください。



▼ アームにブラケットを取り付ける

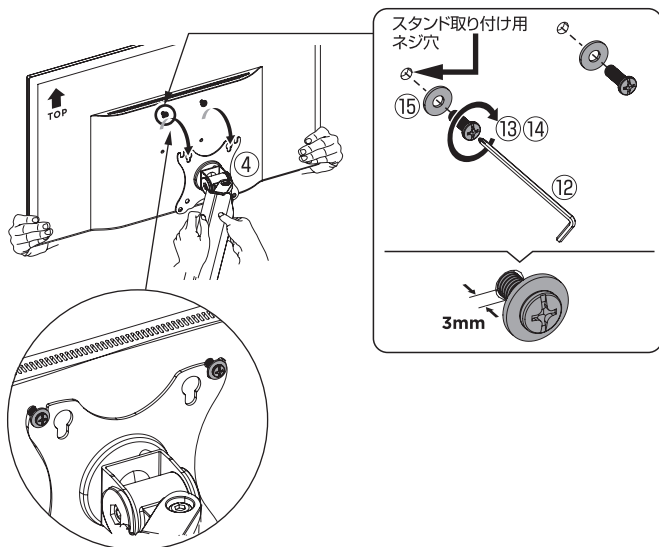
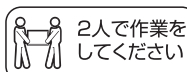
- ④ブラケットと②アームBのジョイント部のボルト貫通位置を合せます。
④ブラケットは「切り欠き加工」がある方を上側にします。
- ⑩ボルトCを⑫六角レンチを使用して、締付けてください。



■ モニターの取り付け

▼ モニターにブラケットを取り付ける

- モニターの「スタンド取り付け用ネジ穴」のサイズに一致する、⑬M-Aまたは⑭M-Bのボルトを選択します。
- ⑬M-Aまたは⑭M-Bのボルトに⑮ワッシャを通し、モニターの「スタンド取り付け用のネジ穴」(上側2箇所)に⑫六角レンチ(⊕ドライバ側)を使用して締めます。
- この時、ボルトのネジが3mm浮いた状態になるまで、締め込みます。
- モニターに取り付けたボルトに④ブラケットを引っ掛けます。

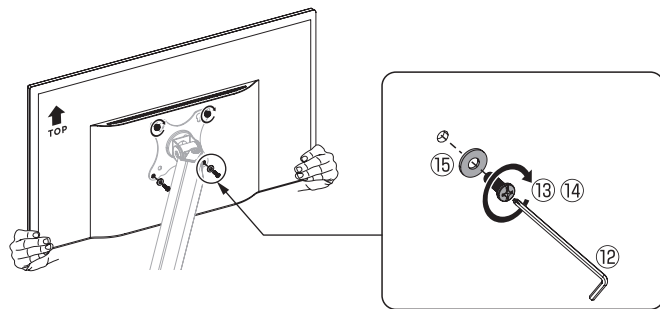


⚠ 注意

- ボルトが長すぎるとモニターが破損する場合があります。また、ボルトが短すぎるとモニターがしっかりと固定できず脱落するおそれがあります。取り付けに適したボルトの長さは各モニターによって異なります。必ずモニターの取扱説明書や、メーカーへの問い合わせなどで確認の上、取り付けるボルトを決定してください。本製品のボルトが使用できない場合があります。

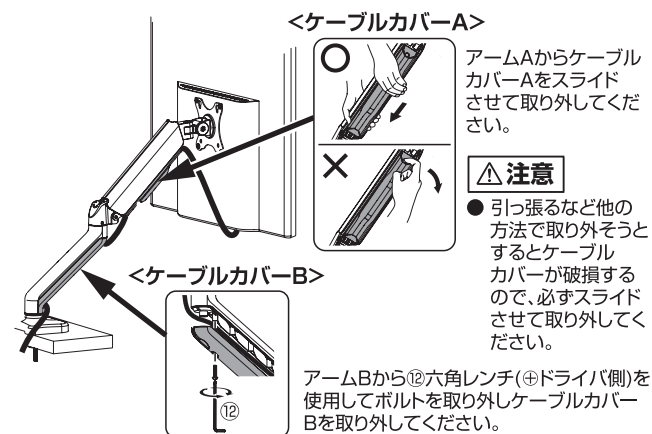
- ⑬M-Aまたは⑭M-Bのボルトに⑮ワッシャを通し、モニターの「スタンド取り付け用のネジ穴」(下側2箇所)に⑫六角レンチ(⊕ドライバ側)を使用して仮締めします。

- モニターのスタンド取り付け用のネジ穴(合計4箇所)を均等に締付け固定します。



■ モニターケーブルの収納

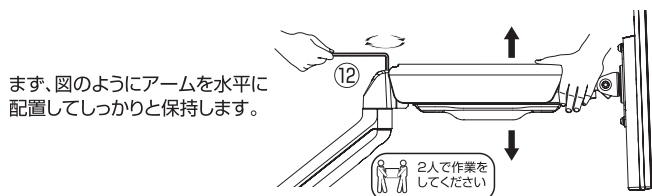
アームA,BからケーブルカバーA,Bを取り外し、モニターのケーブルを通して収納し、カバーを元通りに取り付けてください。



■ 各部の調整

▼ アームの位置調整

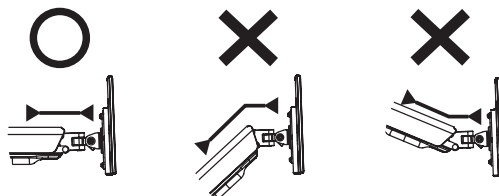
モニターを取り付けたアームのバランスを適切に取るには、⑪六角レンチを使用して、スプリングの張力を調整します。



アームが下がる場合、調整ネジを時計回りに回して、水平位置に固定してください。	
アームが上がる場合、調整ネジを反時計回りに回して、水平位置に固定してください。	

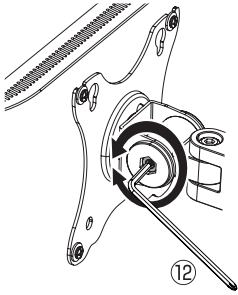
⚠ 注意

- ネジを締めすぎないでください。調整部が損傷する場合があります。
- モニターやマウントの損傷を防ぐため、調整中は常にアームを水平位置に保ってください。



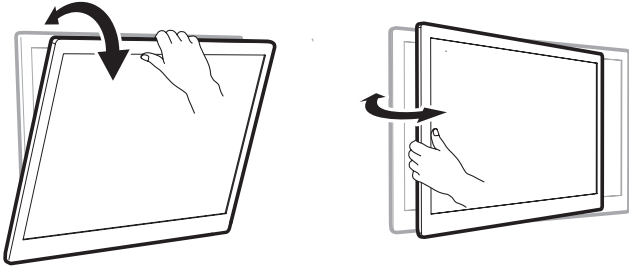
▼ モニターの角度位置調整

モニターが希望の角度位置で止まらない場合、または硬すぎる場合は、
⑫六角レンチでボルトを回して調整してください。

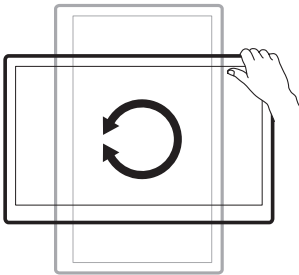


■ 可動範囲

▼ モニター傾斜：上 90° / 下 90° ▼ 関節軸回転：右 90° / 左 90°

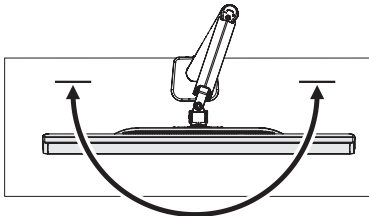


▼ 中心軸回転：右 180° / 左 180°



⚠ 注意

- モニターが落下するおそれがあるため、モニターが天板の外に出ないような位置にして使用してください。



- モニターの調整は必ず両手で行い、片手での操作はしないでください。
- アームなどの可動部分で指をはさまない様に注意してください。